



2000万署名宣伝行動に取り組む三春九条の会の人たち＝5日、福島県三春町

2000万署名に「私も」

福島・三春町九条の会訴えに

2000万署名を早くやりあげて戦争法廃止を求める世論と運動を飛躍させようと、福島県三春町の三春九条の会（代表世話人＝伊藤寛元同町長）は5日、町内で宣伝署名行動に取り組みました。「NO戦争法 武力で平和は守れない」とカラフルな手づくり横断幕を掲げる人や、花笠をかぶり「戦争ほうき（放棄）」と書いたポスターをくくりつけた

ほうきを持って訴える女性。ときおり降る雨を吹き飛ばすような元気さです。「仙台で空襲に遭った。戦争はやっちゃいけない」と話す同会最年長の武藤十三子（とみこ）さん（91）も「アベ政治を許さない」のポスターを掲げました。

家族と買い物にきた佐藤雅俊さん（36）は「戦争法案に反対なのはもちろん、ろくに説明もしない安倍総理のやり方が問題だ。賛成した人たちは選挙で落選させないと」と署名に応じました。

三春町は明治時代、自由民権が盛んだった土地柄です。同会の呼びかけ人（47人）は住職2人、町議3人、元区長、元校長など多彩な顔ぶれ。橋本奉明事務局長は「先月中旬から毎週1回行動し、手元にある分で約150人の署名です。動く人を増やして早く目標3000を突破し、戦争法廃止と国民連合政府の世論を大きくしたい」と話しました。